

1. 提案のき、かけ

川西町には能とネブカがあるのにあまり知られていないのでは、ないかと思われた。あまり知られないと、川西町は他の町から取りえのない町だと思われてしまう。ネブカはおいしいし、能はみても、やっても楽しい。みんなが知らない事は最もたいない事だ。それにネブカのおいしさをしらす、買わなければ、ネブカは売れず、食品ロスとして捨てられてしまいます。つくる人も売れなければ収入にならず、減ってしまう。けれど、あるということは、少なくとも、おいしいから買っているいるということ。

能は川西町で有名な伝統芸能ですがあまりひろくされる場が無い。このことから、能のおもしろさを知ってもらえず、見るきかいか、減っていく一方である。なので、能とネブカのみをよく知ってもらえるイベントを提案する。

提案2

(1) 能をみせよう

イベントを盛り上げるために、能ぶたいで、能をしてみようことを提案する。

これはまず、能を子どもから老人まで知ってもらいたいという理由からだ。

具体的には、次のような事を考えている。

・ 能のフロアが能をすることをみせよう。

・ 能を分かりやすく、説明する。

・ 能の体験会をする

実を見れば、能のおもしろさや、楽しさを知りそして、川西町には伝統芸能があること知ってもらえる。能をならいたいと言う人や、やるところを見たい人もでてくるのではないか。能がこれからも、続いていくことかできると考える。

(2) 入口で能の説明を書いた紙と
ふうせんを小さい子にわたす
能を少しでも知ってもらえるために入場する
ときに係の人が能のおもしろさ・楽しさ・歴史
について書いた紙を配ることを提
案する。この紙では、読む人が「読んでみたい
と思えるような工夫や絵や写真を入れたい。
また小さい子には少しでも楽しめるように、
ふうせんを配ろうと思っている。

具体的には次のような内容を考えている。

・配る係を決めて、一家族に一枚配り、
小さい子がいる家族には、ふうせんを
わたす。

・配る時に能は「楽しいですよ」などの
声かけをする。

能の説明を書いた紙とふうせんをわたす
ことにより、川西町にはこんなみりくが
あったんだ、と思ってもらい、能について知っ
てもらえると思う。小さい子には、少しでも
「このイベント楽しいな」と思ってもらえる
と思う。

(3) 写真をとること

川西町は、ネブカの町だということを知ってもらえていないと感じるため、ネッピーと写真をとることを提案する。

これは、ネッピーが人気になることで川西町にも人気が出てたり、ネブカを買ってもらえたり、興味をもってもらえると思うからだ。

具体的には、ネッピーと写真をとったらその後でネブカをあける。そうすることでネブカに興味をもってもらえると思う。

この提案によって、川西町に来る人が増えて、ネブカがもっと売れたり、ネッピーの人気ももっと増えると思う。

(4)

家に行き帰りしなくても手軽にねぶかをテーマにした料理を買えるため、このコーナーを提案する。ねぶかをテーマにしているので、ねぶきの苦い味が苦手な人でも、簡単に食べられるメニューが楽しめる。お店があればよいと考えた。

(5)

暑いときなどに休められるテントがあればよいと考えた。暑くてつかれたときや、ベンチがあたとしてもすわれなかったときにテントで体を休めることができる。

この学習で学んだことは、

私たちは、このイベントが実現されたら参加しようと思います。駅周辺にゴミがおちていたら拾って、ゴミ箱に捨てようと思いました。

この学習を通して自分たちで考えるのはとても大変でした。だけど、本当に実げんしたらうれしいです。